

「伊達市地域クラブ」で部活動を地域展開します

近年の急激な少子化により、学校単位での部活動の継続が困難になってきています。そこで伊達市では、教育委員会を運営主体とし、学校の垣根を超えて活動が行える「伊達市地域クラブ」を発足します。

▼設立するクラブの種目

陸上、軟式野球、バスケットボール、バレーボール、ソフトテニス、卓球、サッカー、柔道、剣道、吹奏楽

▼クラブに入会できる人

保護者の同意を得た伊達市在住の中学生なら誰でも入会可能です。
※複数のクラブ（種目）に入会することも可能

▼今後のクラブ活動の予定

<令和8年度>

各学校で実施していた休日（土日）の部活動のうち、月1回程度をクラブ活動とします。
※種目により回数変動あり

<令和9年度>

各学校で実施していた休日（土日・祝祭日）の部活動を完全にクラブ活動に移行します。
※平日はこれまで通り各学校での部活動

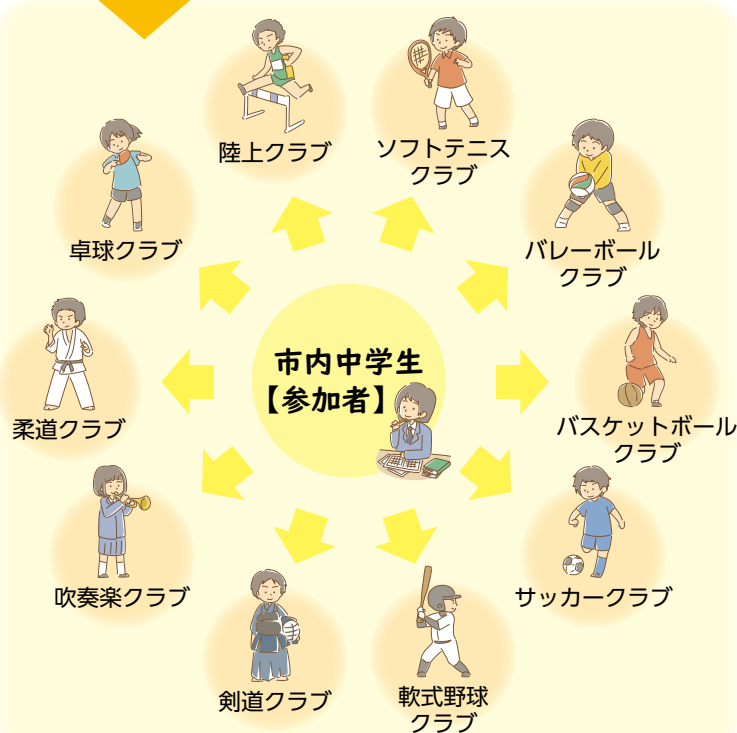
<令和13年度以降>

休日の地域展開における成果と課題を踏まえ、平日の部活動もクラブ活動に移行を目指します。

伊達市教育委員会【運営主体】

教員や地域の人々【指導者】

それぞれの地域クラブを指導



伊達市地域クラブの指導者を募集します！

伊達市地域クラブでは、それぞれのクラブをご指導いただける地域住民の人を募集しています。詳細は伊達市教育委員会ホームページをご確認いただき、指導者を希望される人は、右の二次元コード（【指導者登録用】入力フォーム）からお申し込みください。



伊達市教育委員会 HP



【指導者登録用】
入力フォーム

がんばる伊達っ子を全力応援！

#幸せがじゅずつなぎになるリレートーク

伊達市の小中・支援学校に通う伊達っ子たちが、今がんばっていることや将来の夢などを語るコーナーです。市内の伊達っ子をリレー形式でつないでいきます。子どもたちの真っすぐな思いを聞いてみましょう。



さとうらいき
佐藤来輝さん
(6年生)

おのりょうが
小野涼雅さん
(6年生)

#45 福島県立だて支援学校 (保原)

あいさつから始まる
ぼくの挑戦

ぼくが今がんばっていることは2つあります。
まず、1つ目にがんばっていることは、あいさつをすることです。どうしてあいさつをがんばっているかというと、人に元気を伝えられるからです。あいさつをするときに気を付けていることは、元氣よくあいさつすること、相手より先にあいさつをすることです。
2つ目にがんばっていることは、スイミングです。ぼくは泳ぐことが好きなので、もっと泳ぐことが得意になりたいです。
ぼくの将来の夢は、すべての国の言葉を覚えることです。なぜなら、すべての国の言葉を知っている人が少ないからです。だから、ぼくはこれから、A・L・Tの先生の授業をきちんと聞くことと、本で調べることをがんばろうと思います。
(小野涼雅)

できないを
できるにする

ぼくが、今がんばっていることは2つあります。
まず、1つ目にがんばっていることは、体育の鉄棒です。鉄棒をがんばっている理由は、できなくてくやしかったので、できるようになりたいなと思ったからです。とくに、前回りをがんばりたいです。
2つ目にがんばっていることは、あいさつです。あいさつは大事だから、がんばりたいと思いました。大きな声であいさつすることを忘れないようにがんばっています。
ぼくの将来の夢は、お店で働くことです。たくさん働いて、お客さんに、喜んでもらえるようになります。これからお金の勉強をがんばりたいと思います。
(佐藤来輝)

次回 伊達中学校 (伊達)
※次回は4月号掲載予定です。